八碁連だより

7月号　第335号

文月の花:菖蒲／アヤメ(虹の女神イリス:Iris)

発行日　令和元年７月１日
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市大和田町3-17-42-110
電　話　042-686-1762
発行者　成田　滋
編集者　森本　康男

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

八碁連HP　https://hachigoren.com

巻頭言

私の囲碁との関わり　　**浅川囲碁同好会　　正岡　得達**

浅川囲碁同好会は浅川と横山南市民センターを２拠点とし、半年交替で例会を行っています。浅川地区は八王子市の西南部エリア、高尾山麓を背景に、みどり豊かな自然に恵まれ、都心からも近く、年間300万人も訪れる人気スポットです。この地域に住み、その素晴らしさを感じながら、退職後はやり残したことに関心が向きました。

１．　八王子に長く住み、この素晴らしい環境の維持に携わりたい。

２．　囲碁の手ほどきを頂きながら、取り組めなったこと。

落ちついた頃に、浅川囲碁同好会を紹介され訪問、級位認定後入会、研修会入りを勧められ４年余り学びました。今思えば、同好会の的確な判断、研修会では大盤解説指導があり、その後は、対局で充実した日々でした。級位から段位への昇段は嬉しい出来事でした。

私には、囲碁が「静」であれば、もう一つの環境活動は「動」の活動で、こちらも市の研修を６ヶ月受講して、同時期に活動を始めました。　エリアも浅川囲碁同好会と重なり、好都合な活動となっています。自然環境(里山、生き物)、生活環境(大気、水質調査、資源循環・省エネなど)、小学校の教育支援(次世代が大切)などで動き回っています。

研修会を降りて、同好会に戻ると、浅川同好会には強い方が多く、リーグ戦では勝ち越しさえ難しい有様です。　今年４月の活きいき大会でやっとクラス優勝が叶い、平成最期に間に合いました。大会での優勝は５連勝の道のり、私には実力以上に運が伴います。最近、学習を楽習、碁を楽しむこと「碁楽」、美術・陶芸など個人は「愛好」、道を究める「道」など種々表現がありますが、これらを含め、アマチュアの世界は「好きこそものの上手なれ」、同好会を広く捉えた名称で

よいと思います。

プロ棋士の瞬時のよみ、勝負への姿勢などは計り知れなく別格の存在ですが、応援と尊敬の意味で、サイン入りの扇子は宝、 大事にしています。５月の令和にじだいになり八碁連では地区の同好会の紹介チラシの掲示や、浅川囲碁同好会(岸村会長)が地域情報誌に紹介されるなど、囲碁の楽しさを広めるPRの努力、目に見える動きは新鮮で大変良いと思います。新しい理解者や会員となられる方が増え、充実することを願っています。

第28回活きいき囲碁大会の結果

中野大会　　5月19日(日)　　於:中野市民センター

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	南大沢	川口	一般	初心者	合計
8	23	13	16	9	3	0	21	2	4	0	2	101

Aクラス(八段～五段)：26名

優勝：三島敏明(浅川)七段　　準優勝：松本健彦(石川)六段　A　　三位：吉田　旭(浅川)八段

Bクラス(四段～二段)：24名

優勝：小西弥一(浅川)三段→四段　　準優勝：森本康男(中野)四段　　三位：岩本武（中野）二段

Cクラス(二段～３級)：26名

優勝：三浦弘之(長房)初段→二段　　準優勝：佐藤正宏(元八)２級　　三位：原田朋栄(大和田)１級

Dクラス(３級～９級)：25名

優勝：柚木鎮夫(長房)５級→４級　　松田都実雄(元八)５級　　三位：刑部守彦(長房)３級

大和田大会　　6月2日(日)　　於:大和田市民センター

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	南大沢	川口	一般	初心者	合 計
5	22	7	5	21	1	4	16	3	3	0	2	89

Ａクラス(八段～四段)：26名

優勝：鳥山光昭(長房)四段A→五段　　準優勝：柳豊太郎(大和田)七段　　三位：池田正三(大和田)六段A

Ｂクラス(三段～二段)：24名

優勝：武中章三(南大沢)二段→三段　　準優勝：横手幸彦(恩方)三段　　三位：池谷明夫(中野)二段

Ｃクラス(初段～３級)：19名

優勝：森田良則(大和田)初段→二段　　準優勝：市川信治(恩方)３級　　三位：仲渡英生(石川)１級

Ｄクラス(４級～９級)：20名

優勝：柚木鎮夫(長房)４級→３級　　準優勝：多田泰子(恩方)５級　　三位：坂口　勝(元八)７級

囲碁案内人連絡会よりご寄付をいただきました！　　**八碁連理事務局**

囲碁教室で指導される会員の方々より￥73,700-のご寄付を頂きました。子ども囲碁大会などの関連行事に有効に使わせていただきます。有難うございました。

初の女性囲碁大会を開催　計画中　　事務局

八王子市に在住、在勤する女性への囲碁の啓蒙と普及や女性会員の棋力向上をめざし、互いに親睦を図る大会を開きます。

・日時：令和２年２月16日(日)　午前９時～午後４時　　・会場：東浅川保健福祉センター４Ｆ

・定員：20名　　子供の参加も歓迎　　・参加費：¥1,000-(含昼代)

・競技委員長：吉澤　實八段

・主催：八王子囲碁連盟

・後援：日本棋院八王子支部　　日本棋院(交渉中)

日本棋院八王子囲碁連盟コーナー　　常任幹事　南　正一郎

甲田四段による指導碁の会

昨年来、八王子市在住の日本棋院所属の甲田明子四段による指導碁を毎月行っていますが、この度、新たに級位者を中心とした指導碁の会を始めました。８名の方に参加していただき、一局１時間30分の４面打ちで指導を受けました。

甲田先生が級位者に対し、良い手へと導くように打っていただき、大変勉強になったし、何よりも、プロ棋士と打てたことが今後の励みになるとコメントを頂きました。互いに棋譜を取り合いながら、その後の講座で検討されたようです。　また、甲田先生からは｛八王子市に住み始めて15年になりますが、こんなに沢山の囲碁ファンの方がいることにびっくりしました。当日はいつもと違った雰囲気で、和やかでしたし、やはり女性がいると場が華やかになるのはよいですいね。これからも皆さんと一緒に楽しい時間をすごしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします｝と感想が届きました。

なお、次回の予定は以下の通りです。

・日時‥‥８月６日(火)　１：00ｐｍ～４時

・場所‥‥東浅川保健福祉センター第２集会室

・申込先‥南　正一郎　　Ｔｅｌ＆Ｆａｘ：663-5446　　メール：sminami0003@yahoo.co.jp

・なお、段位の方も歓迎です。先着順に８名で締めきります。

随筆

プロムにみられる白と黒の棲み分け　　大和田囲碁同好会　　成田　滋

孫の卒業式に出掛けてきました。卒業生は550名という大きな高校です。生徒の名前が一人ひとり読み上げられ証書が手渡されるたびに、あちらこちらから大きな歓声が沸き上がります。そのために２時間余りの式となりました。厳粛さは、生徒代表や校長の祝辞の時だけです。大勢の家族や親戚、友人が集まるのがアメリカの卒業式です。

卒業式には特別な意義があるといわれます。大人の世界へ踏み出す節目だからです。保護者の庇護から自立へと出発する「時」が卒業(commencement)だというのです。進学の場合、何を勉強したいのか、どのような奨学金が得られるかが大学選びの要件です。進路指導担当やネットから詳しい情報を自分で得るのです。

今の高校生は情報を蒐集するのに長けています。卒業した孫は志望するいくつかの大学にメールを送り奨学金の有無を調べたようです。

ところで卒業を控えた高校生最後の年に、プロム(prom)という社交行事があります。ダンスやディナー、そしておしゃべりを楽しむのです。パートナーを探すのは男子生徒で、首尾良く申し込みが成功するとペアで参加します。男子はタキシード、女子はドレスとコサージを着用します。バンドやDJが登場し雰囲気を盛り上げます。プロムは保護者が主催する行事で、会場の準備や跡片付けをやります。飲酒やドラッグ、不純異性交遊をしないように見守るのです。ペアが抱き合って踊るので、宗教的な理由でプロムを忌避する生徒もいます。

一見華やかそうな社交の場ですが、南部ジョージア州などでは、同じ高校の生徒であっても白人と黒人生徒が別々にプロムを開くといわれます。白人のプロムには黒人は参加できません。逆もまた然り、これも人種間の棲み分けとか分離の姿です。白と黒との角逐は囲碁だけではありません。囲碁と違って、白人は黒人よりもなにかと優位なのが人種問題の根底にある否定できない現実です。最近では保護者や生徒らから反発が起こり、アンチ・プロムというよりくだけたパーティも開かれるようです。プロムがあまりにも人種について微妙な行事で、かつ派手で費用がかかるという理由からです。

人種平等が公民権運動などによって保障され差別が違法であるとされても，依然として棲み分けが続くところにアメリカの深い苦悩があります。　　(注：プロムとはプロムナードの略です)

盆栽の話　　**中野囲碁同好会　錦織紀久雄**

私が盆栽を始めたキッカケはおそらく多くの方々が経験されたサツキの花の変化、咲き分けにびっくりしたことです。八王子市の中野団地に移住してきた1970年代初め30歳の頃だと思います。既にサツキブームは始まっていました。犬目町の農協(JA)に自転車で出かけた際に、見事に白･赤と咲き分けたサツキの木１本に心を打たれました。接ぎ木だと思いました。後日、JR八王子駅前の本屋さんでサツキの月刊誌を買ったのが始まりです。その後、川口川中流の明治橋の袂にある広場で開催されていたサツキ展示即売会や、川口川上流の山の傾斜地域のハウス中(温室栽培)で長尺１m 以上の苗木と九十九(ツクモ)流板橋樹形を作り販売しているお宅に伺い、次々と購入したのですぐに20本程に増えベランダ一杯になって、毎年、花を楽しんでいましたが、場所が狭いため、洗濯ものが邪魔してうまく育てることが出来ませんでした。

その後10年程経ち、中野団地の近くの戸建てに移住しました。サツキも移動しましたが、思うように形や大きさに育ちませでした。 それでもあきらめず、その頃に勤め先の盆栽部に入会し先輩の皆さんの意見に耳を傾けサツキ以外の盆栽を始めるようになりました。自宅の棚場は一杯になり境界ブロックフェンスの上まで並べました。小さいものは何鉢も無く(？)なりました。なくなるとさらに自分好みの木が欲しくなりました。盆栽仲間とのバス旅行などで花園や寄居方面で次々と買いあさり、気がつけばサツキ以外の鉢が多くなって、特に、五葉松が好きになっていました。結局、場所が無いため、サツキはやめ、友人が来訪のおりにお好みのサツキを渡して縮小を図りました。この頃はサツキブームも去り、友人も来なくなりました。サツキ仲間もいなくなり一般盆栽の仲間と展示会場に行くようになりました。定年も過ぎ70歳に近い頃、仲間の勧めで盆栽クラブ季楽会に入り、その２年後、日本盆栽協会八王子支部にも入会しました。それぞれの代表

の方がとても親切で、展示会の出展の際にはいろいろとアドバイスを頂き、主木の剪定から飾り台や地板の借用まで、とても助かりました。このままの盆栽棚では樹が思うように育ってくれません。光と風と水、肥料は理解していましたが、思いきった棚の改造が出来ませんでした。最近の気候は夏場の陽射しがきつくて五葉松は何本も枯れてしまいました。

75 歳頃、突然大病を患いましたが、幸い回復しました。病院での長い時間、盆栽への水やり、日除けのこと、家の周りの立ち樹もいずれ手入れが出来なくなると考えていました。退院後、終活を考えて、家の周りのブロックフェンスと立樹の撤去改修をすることにしました。ついでに、盆栽棚も取り替えることにしました。幸い盆栽棚が不要になった仲間からアルミの棚をいただき一年ほど前に棚場も完成しました。今、盆栽はこれからだとハリッきっています。

(業界の状況)：最近の盆栽界の状況は一変しつつあります。サツキブームは５０年に一度やってくると、先輩に教わっていました。もう既に過ぎてしまいました。国内での低迷はまだ続いています。サツキ業界の一部では、中国人の赤花人気で大量の完成木が売れたようです。盆栽月刊誌「近代盆栽」の代表者の徳尾氏が今年の一月号に“本音で語る盆栽界”と題し、“一般盆栽や小品盆栽は中国人の爆買で品薄となり販売業から生産者に商売替えする人もいる”と述べていました。一昨年の暮、大きなセリ会場である“水曜会”で、本人もセリに参加されたそうですが、高くて一点も落とせなかったと嘆いていました。中国人ブローカー(仲介業者)が大勢いて顧客のレベルに合わせ大量仕入れ(爆買)をするようです。彼等は自家用ジェットでピューとやってきて、通訳・案内人と一緒に日本の盆栽業者や愛好家の棚を回り１本何十万円・何百万円の樹を手当たり次第に気にいったものを買って持ちかえるそうです。明治～昭和期に数十年かけて中国から日本に渡ってきた名品：古渡(コワタリ)鉢が、ここ十年で7～8 割は買い戻され中国に里帰りしてしまったようです。そればかりでなく、日本の名品鉢も、ものによっては、日本の数倍の価格で流出しているそうです。日本盆栽協会の会員数も最大２万人いたのが、今年は１万人に減少したそうです。昨年９月に新理事長が就任して新たな改革がなされようとしています。

囲碁雑感　　**中野囲碁同好会　井上栄次郎**

桜の花のシーズンも終わった平成最後の活きいき囲碁恩方大会で優勝できたことは幸運でした。後半戦は、日頃打っている碁友との気楽な対戦が幸いしたように思う。　一昨年より、八碁連の指導碁を行い、初段手前の楽しく伸び盛りの人たちと対局している。途中で対局をやめ検討談義に時間をかける。今年の４月からは、有段者の指導に変わり、別の楽しみが待っている。自分が若い頃に何気なく作った「囲碁必勝法戦の知恵と金言文」が、今になって役だっている。終わりに渡すようにしている。　資料の布石、中盤、終盤の考えを理解し実戦で試してみて下さい。“初段は近いですよ”と励ましている。さらに、基本と集中力、そして、時には我慢の大切さも伝えている。

平成最後の４月にアマ囲碁大会団体戦に参加した。日本棋院に集まった総勢 500 人を越えて騒然とした雰囲気であった。

無差別、A，B，C，の組に分かれ、２回戦の相手はなんと小学生チーム、こちらは老体５人組でどうなるかと心底複雑な思い！子供たちの早見え、早打ち、寄せの正確さには驚かされるし、子供の脳の働きの無限さを感じる。我々の囲碁は早打ちする時には、錯覚や打ち過ぎでしばしば失敗する。子供たちは、対局中に２～３度手が止まる

こともあったが、形勢判断を訓練されているようだ。側で心配そうにみている母親は、子どもを新宿の藤沢囲碁教室に通わせて院生１４才までを目指している。

昨今、囲碁界はＡＩの影響が不可欠であるように思う。都内では囲碁を嗜む層が厚く有望な子供たちが育つ環境を感じる。５月からは、令和元年の新時代に入り、八碁連の益々の発展を期待してやまない。

碁聖丈和の故郷(沼津市西浦木負(キショウ)を旅して　　中野囲碁同好会　森本康男

「沼津市西浦木負」が棋聖丈和の生誕の地。駿河湾越しに霊峰富士山を遠望できる景勝の地にある。丈和（十二世本因坊：天明七年／1787 年～弘化七年／1847）は、秀和や秀策を育てた江戸時代中期の碁聖。記念碑に刻まれた「訓戒」を紹介する。

十二世本因坊丈和の訓戒

それ奔棋に三法あり。石立、分れ、堅めなり。この三つ宜しきときはその業大功なり。三つ内、一つ得ざれば凡ならず凡そ三十手、或いは五十手、百手にして勝負を知るを修業の第一とす。

修業に正邪二つあり。正道に志せば上達し、邪道に志せば下達す。邪道とは欲心強きを云う。欲心見えぬ手を見出さんとして、調子長くなって起きる手筋を云う。知らざれば考えてもなかなか見えぬものなり。故に打つ程に下達す。正道は欲心深からざるを云う。その術、早打ちにして手筋を心掛くるにあり。早きときは欲心出る隙なし。欲心出でざれば手筋よく次第に上達す。これ初心第一の心得なり。また地取り、石取り、敵地に深入りし、石を逃げる、みな悪し。それ地取りは隙なく、石取りは無理なり。深入りは欲心なり、石を逃ぐるは臆病なり、故に地と石を取らず、深入りせば石を取らず、深入りせば石を捨てて打つべし。地を取らざるは堅固、石を取らざるは素直、深入りせざるは無欲なり。石を捨つるは尖なり、とかく我が石を備え堅むるを第一とし、次に敵の隙間を打つべし。かくの如くするときは手筋素直にして上達速やかなり。初心の業、正道に入り易く上達し易からんことを示すのみ。

（補）：八碁連だより５月号（第 333 号）の巻頭写真に載せた：沼津市西浦木負（キショウ）：丈和生誕の地の記念碑）。

編集後記

・会員の増加（新規入会６名）で活気づく台町囲碁同好会。かっては会員減少で活きいき大会の開催も危ぶまれたのが、今ではウソのようです。会員名簿でも、ほぼ１頁を埋める 26 名の中堅所帯の同好会となりましたので全員で研鑽に努めたい（白石好伸会長）。

・活きいき囲碁大会は７月～８月は“夏休み”に入ります。各地区の大会の参加者は、今年は、例年を上回り主催者のうれしい悲鳴が聞こえてきます。９月１日（南大沢）、９月 15 日（長房）、９月 29 日（川口）を残すのみとなりました。10 月以降は八碁連本部主催の大きな大会がひしめいています。熱中症・食生活などに留意してお過ごしください。

・囲碁の話だけでなく、いろいろな話題（エッセイ・詩歌・俳句・紀行文など）を載せたいと思いますので、皆さんの寄稿をお願いします。（文責：森本康男）

（広告）

ウィスコンシン大学日本同窓会
留学生担当　成田滋　shigerunarita@gmail.com　https://www.wisc.edu

アメリカ大学留学説明会(EducationUSA Expo2019)
令和元年９月７日(土) 12:00pm～6:00pm　会場：お茶の水ソラシティ

毎年アメリカ大使館が主催する留学フェアです。全米から100余りのアメリカの大学が出展して、留学の手続きや授業料、生活費などを紹介します。
参加予定大学：ウィスコンシン大学、エール大学、ハーヴァード大学、コロンビア大学、プリンストン大学、カリフォルニア大学、ミネソタ大学、イリノイ大学、シカゴ大学、マサチューセッツ工科大学など